

「IT・IoT を活用した生産性向上」の支援を強化！

～技術相談事業にカテゴリー一新設～

人手不足等による業務効率化、生産性向上が求められる中、横浜企業経営支援財団（IDEC 横浜）では、技術相談事業のメニューとして「IT・IoT を活用した生産性向上」を新設しました。【IT・IoT】と【現場】、双方に詳しい専門家6名を新たに迎え、企業の現場で生産性向上に関する実践的なアドバイスを行います。



★こんなお悩みをお持ちの方に・・・

- ◎IT・IoT を使って業務効率化や生産力向上をはかりたいが、具体的なイメージがわからない
- ◎センサーの設置、AI・ロボット導入等を検討しているが、自社に適したデバイスや機器を選定方法を相談したい
- ◎生産管理システムを導入しているが、思うような効果が得られず困っている

単なる相談に終わらせず、IDEC 横浜「ものづくりコーディネーター」などを通じて ITベンダーとのマッチングも適宜行っていきます。

■技術相談事業とは

市内中小企業が抱える技術課題を解決に導くことを目的に、豊富な知識と経験を有する「技術アドバイザー」が相談企業を訪問し、現場に即したアドバイスを行っています。機械加工・設計、電気電子、金属材料といった技術分野のほか、平成31年度からは「業務効率化、生産性向上」といったノウハウについても相談できるよう体制を強化します。

(参考) 横浜市では市内中小企業の実産性向上につながる設備投資メニューとして「中小企業設備投資等助成制度 (IT・IoT 導入型)」を実施し、市内の中小企業者が生産性の向上のために行う IT・IoT の導入費用を助成します。詳細は横浜市ものづくり支援課までお問い合わせください。

お問合せ先	
公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部	技術支援担当部長 加藤 盛司
	TEL045-225-3733

(裏面あり)

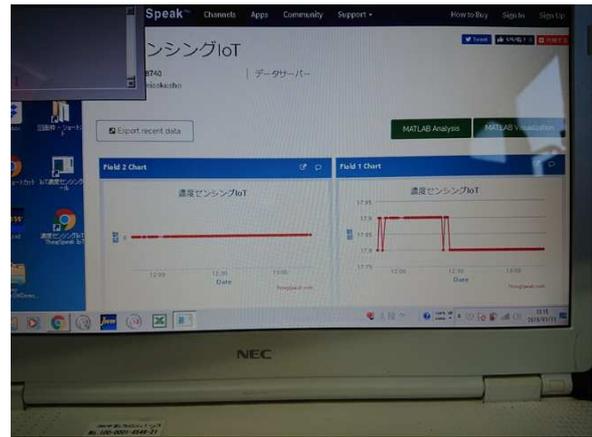
■ (株) 大野製作所 (都筑区) ～26 万円で製品精度高度化を実現～

＜事業内容＞産業用バルブ部品、気象用観測部品、自動車関連試作部品等の製造

- ・ IDEC 横浜の専門家が同社を訪問、生産性向上のための現場改善や不良率低減を課題として抽出した。
- ・ 不良率に関しては機械加工時における切削油の温度や濃度が製品精度に大きく関係していることを突き止め、主要設備に濃度モニタを設置した。これにより温度や濃度の制御、見える化が可能となり、製品精度の高度化と刃物の長寿化を実現するに至った。



設備に濃度モニタを取り付けた様子



データの収集、見える化を実現

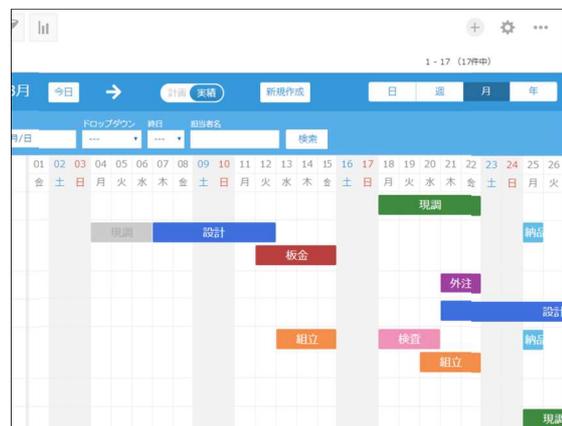
■ (株) バネックス (港北区) ～進捗管理システム導入で各工程が見える化～

＜事業内容＞制御盤・配電盤の受注から施工までトータルでの請け負い

- ・ 同社の強みは板金から電気組立配線までの一貫生産だが、各工程の進捗管理が課題であった。
- ・ IDEC 横浜が開催した IT ベンダーによるプレゼン会を通じ、進捗管理を改善するシステムを手がける企業とマッチングが成立、システムを導入した。これにより社員全員がリアルタイムで各工程の進捗や生産状況を把握することが可能となり、納期遅れゼロを実現した。



板金から組立配線までの一貫生産を行う



進捗管理改善システムを導入